



朝霞地区医師会 はまの きみなり 濱野 公成  
☎464-4666

膀胱は下腹部に位置し、腎臓で作られた尿をためる臓器です。膀胱の内側にある、尿路上皮と呼ばれる粘膜から発生した悪性腫瘍のことを、膀胱がんといいます。年間、人口10万人あたり約15人が膀胱がんと診断され、50歳以上の男性に多く発生すると言われていいます。自覚症状としては、肉眼的血尿で見つかることが最も多いため、血尿をみとめた際は、膀胱がんの鑑別が必要となります。

膀胱がんは、尿検査、尿細胞診、腹部超音波検査、CT検査、MRI検査、膀胱鏡検査などを行い診断します。

膀胱がんの大部分は膀胱の内面をおおっている尿路上皮という粘膜から発生する尿路上皮がんです。できたばかりの早期には粘膜内にとどまっていますが、進行するとともに粘膜下層、筋層、外膜、膀胱外（周囲組織、前立腺、子宮など）へと浸潤していき、さらにリンパ節、肺、肝などへ遠隔転移を起こしていきます。

癌の浸達度（深さ）は画像所見では確実ではありません。膀胱腫瘍と診断された場合、腫瘍の深達度診断（膀胱がんが表在性なのか、筋層まで浸潤しているのか）、組織型の確認、悪性度（Grade）を確認するために腫瘍を切除、採取し病理組織学的に診断するため経尿道的膀胱腫瘍切除術（TUR-BT）を行います。

表在性の膀胱がんであれば、TUR-BTで腫瘍を完全に切除することで完治を期待できます。比較的短期間の入院で、さして苦痛もなくこの手術を受けられますが、再発を起こしやすいのが膀胱がんの特徴です。TUR-BTで腫瘍を削り取ったとしても、表在性膀胱がんのうち50%前後は2年以内に再発し、また再発を繰り返す間に20%は浸潤性がんへ移行してしまうことがわかっています。その対策として、TUR-BT直後に抗がん剤の膀胱内注入を行うことで再発を減らすことが期待できます。

TUR-BT およびMRIなどの画像検査で浸潤性膀胱がんと診断された場合、膀胱全摘除術+骨盤内リンパ節郭清術が標準治療になります。

手術方法は開腹での膀胱全摘術が一般的ですが、最近では腹腔鏡を用いた腹腔鏡下膀胱全摘除術あるいはロボット支援下膀胱全摘除術も保険診療で可能になり、行っている施設も増えています。ロボットを使用した膀胱全摘除術のメリットは、腹腔鏡下手術同様に開腹手術と比較して傷が小さく、出血量が少なく、患者さんへの負担が少ない点で、腹腔鏡下手術と比較し、さらに繊細な手術が可能です。

膀胱全摘除術で膀胱を摘出するときには、尿の出し方を変えることが必要になります（尿路変更術）。

小腸や大腸を使って手術前と同じように自然に排尿する方法（自然排尿型代用膀胱）および尿管を小腸へ付けてお腹に出して（ストーマ）袋に尿を集める方法（回腸導管）が標準的な方法です。

どちらの尿路変更術が適しているかは、患者さんの年齢や性格、患者さんの全身状態や併存症の有無（腎不全や糖尿病など）、膀胱がんの存在部位（尿道にがんがあり、多発する上皮内がんなどは自然排尿型代用膀胱の適応外）などで判断する必要があります。

残念ながら、膀胱全摘除術をうけた浸潤性膀胱がん患者さんのうち、50%は再発、転移をきたすことがわかっています。また、最初の診断時にすでにがんが転移を起こしている場合は、基本的に根治（完全ながんを治すこと）は不可能です。転移をおこしてしまった膀胱がんに対する治療はシスプラチンという抗がん剤を含んだ、多剤化学療法が標準治療になります。進行あるいは転移をおこした膀胱がんに対し抗がん剤が効かない場合は、免疫療法が次の治療として有効な可能性があります。

### 日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)	
11	3	新座	田中内科医院	内、外、循内、消内	477-3536	和光	田中医院	内	461-2060
	6	新座	平山クリニック	内、小、アレ	480-0248	志木	西川医院	内	471-0074
	13	朝霞	鈴木内科	内、小	473-6611	和光	村山皮膚科クリニック	皮、アレ	464-5333
	20	志木	幸町クリニック	内、外、肛	485-5600	朝霞	朝霞台駅前 みなみ耳鼻咽喉科	耳、アレ	474-8733
	23	朝霞	富岡医院	内、循内、小	461-7581	朝霞	まつおか眼科クリニック	眼	450-2030
	27	朝霞	塩味クリニック	内、小	461-6100	新座	永弘クリニック	泌、内、外	474-3708

日曜日、祝日に開局している薬局  
下のコードから確認できます。



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。

#### 救急医療のお問い合わせ

- 埼玉県南西部消防局 ☎460-0123
- 埼玉県救急電話相談 #7119(全国共通ダイヤル)または☎824-4199(ダイヤル回線、IP電話、PHS)

わたくしたちの健康